

2017年(平成29年)1月8日(日曜日)

## 石巻の商品開発高校生講座

# 「挑戦すること大切」

## 3校生徒 2年間の成果報告

地元の高校生が商品開発を目指す「いしのまき地域商品開発高校生講座」の成果報告会が6日、石巻市中央3丁目の石巻信用金庫本店であった。石巻市桜坂高と宮城水産高、石巻工高の生徒7人が、約2年間の



講座で学んだことを発表し合った報告会

講座で感じたことを振り返った。昨年度は各校の専門分野に応じた役割で分業してきしたが、本年度は学校ごとに商品開発を進めてきた。試食会を通して3商品の中から桜坂高が地元洋菓子店フ

エブリエと開発した「桜坂マカロン」に絞り、昨年12月には販売会も行った。報告会では、一人一人が講座で学んだことや関心を持ったことなどについて発表した。宮城水産高の生徒は「人前が出るのが苦手だ

ったけれど、こうして堂々と発表することができるようになった」と述べた。桜坂高の生徒は「幅広い年代の方と関わっていく中で、挑戦することの大切さを学んだ」と語った。石巻工高の生徒は「普段何げなく見ている商品パッケージやポスターを見る目が変わった」と話した。

アドバイザーの前川卓三さん(65)は「地域愛を育んでもらいたいという思いで進めてきた。地域を知ってこそ活性化につながると思う」と語った。開発した商品をどう扱うかは今後決めていく。

講座は地域の人材育成などに取り組むNPO法人グラウンドワーク三島(静岡県)が運営し、住友商事(東京)・東日本再生ユースチャレンジ・プログラムの助成を受けて実施された。